

### 第3回稲沢市介護保険事業計画等策定委員会 会議録

日時：令和5年11月13日（月）午後2時

場所：稲沢市役所 第10会議室

- 1 あいさつ
- 2 議 題
  - 議 題1 副委員長の選出について
  - 議 題2 介護保険事業計画素案について
- 3 その他
  - ・次回の開催予定について

#### 議 題

- 1 副委員長の選出について

星野委員に決定（異議なし）

- 2 介護保険事業計画素案について

事務局：（資料2「計画素案」第1章～第3章の説明）

（質疑応答）

委員：P.3「計画策定の背景」だが、最後の7行は厳密には「背景」ではなく、「2 計画の位置づけ」に回すのが適切ではないか。また、「市は」「本市は」「稲沢市は」という言い方が見られるが、「本市は」で統一してはどうか。また、P.25の介護施設の状況は一宮、尾西、愛西、あま、清須など他市のデータとも比較してはどうか。

事務局：プロジェクトで検討する。

委員：P.55等「フレイル」を具体的にどうするか。「健康体操」は新規参加者が少ないが、続けてほしい。また、参加しにくい理由として、高齢者の足の問題がある。巡回タクシーなどもやっているが、自治会、老人会、サロン、茶話会など、地域でやれるように力を入れてほしい。

委員：P.60に取り消し線が2か所残っているので、修正をお願いしたい。

事務局：対応する。

事務局：（資料1「計画骨子案」第4章の説明）

（質疑応答）

委員：P.63の住宅改修費給付について、フォローはどこまでしてもらえるのか。

事務局：1人20万円が限度となっている。

委員：「手すりの取り付け、段差の解消など」とあるが、この「など」には何が該当するのか。例えば一宮市では床の沈みにも対応していると聞いている。

事務局：滑りにくい素材に変えるなど、床材の変更は認めている。

委員：P.59、77、79に関連することだが、地域での支え合いをボランティアで行うことは非常に難しい。これからは有償ボランティアを進めるべきで、できれば政策に入れることを一考してほしい。また、全体的に「民活」が計画に出ていない。明治安田生命と市が包括連携協定を締結したが、他にも民活の意向を持ったところはいろいろあるので、広く提携してもらって健康増進に寄与してもらおう。市も得をするし、民間もPRになる。ぜひそういったことも考えてほしいし、計画にも入れてほしい。

委員：認知症サポーター養成講座は、自分達だけで開講するのは難しい。自分の認知症カフェにキャラバンメイトが4名いるが、誰も養成講座に関わったことがない。協力すればもっとわかりやすい講座が開催できる。ボランティアも1人では難しい。誰かのた

めに何かしたがっている人は多い。

事務局：（資料1「計画骨子案」第5章・第6章の説明）  
（質疑応答）

委員：国の改正案で新設される訪問介護と通所介護を合わせたサービスについては何か検討しているか。

事務局：今のところは見込んでいないが、検討する。

委員：保険料の算出について、数字が掲載されていないが、方向性としては上がるのか。また、次回の委員会で保険料が提示されたらそれで決まってしまうのか。

事務局：高齢者人口が増え、介護保険を受ける人が増え、生産年齢人口が減っていくことなどから、通常は上がると考えている。保険料は見込みによって決まるがその見込みを変えることはできないので、保険料が金額的に高い安いという話はここで検討してもらうとしてもそれを計画に反映させることは難しい。

その他

・次回の開催予定について

事務局：次回の策定委員会はパブリック・コメントの後、令和6年2月6日（火）午後2時からの開催を予定している。内容は、12月11日から1月10日にかけてのパブリック・コメントの結果と計画の最終案について取り上げる。

以上